

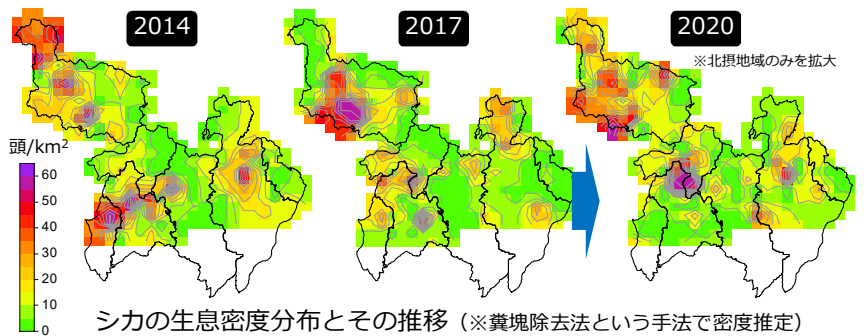
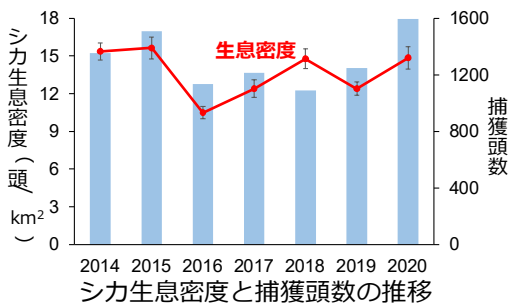


シカのモニタリング調査

森林生態系への影響や農林業被害が問題視されているシカとの共存を、科学的管理のもとに進めるために、生息状況や被害状況の把握を行っています。

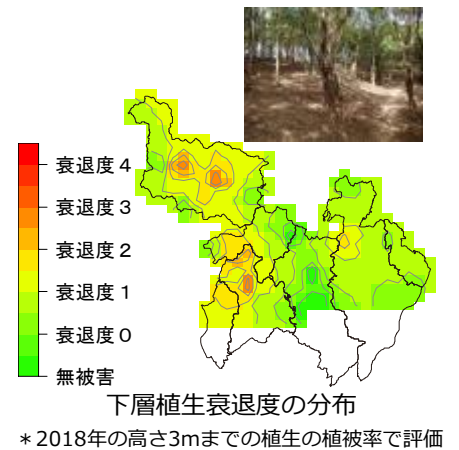
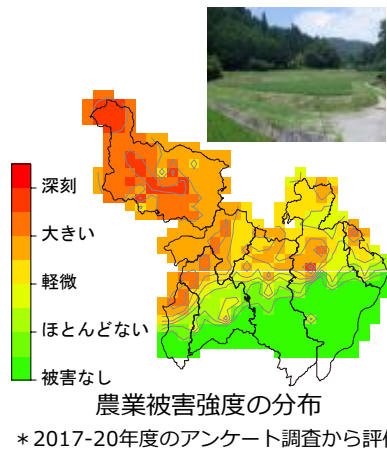
シカの分布と生息密度の変化

- 大阪のシカは、主に北摂地域に分布しています。
- 過去には激減して保護されていましたが、1990年頃から急激に増加しました。
- 近年は2016年頃にやや減少しつつも、ほぼ一定で推移しています。
- 能勢・箕面・高槻に多いですが、高密度地域は徐々に変化しているようです。



シカによる被害の発生状況

- シカ高密度地域を中心に、大きな農業被害が発生しています。
- 森林でも高密度地域では、シカの口が届く高さの植物は食べつくされ、次世代を担う若木が育たないという状況が生じています。



大きな被害を抑えるためのシカ密度とは？

- シカ生息密度の増加につれて、農業被害の大きさがどのように変化するのかを解析したところ、シカ密度が10頭/km²程度を上回ると被害が急激に増加することが分かりました。
- この結果が根拠の一つとなり、大阪府のシカ管理計画では「10頭/km²」という密度が、一つのめやすとなっています。

